

2023年9月9日
米子バイオマス発電合同会社

米子バイオマス発電所 燃料受入搬送設備における火災の発生・鎮火について

本日、9時25分頃、米子バイオマス発電所（鳥取県米子市）の燃料の受入搬送設備※（燃料：木質ペレット）内において、火災が発生いたしました。ただちに消防に通報するとともに、消火活動を開始し13時15分頃に鎮火が確認されました。

この火災発生によるけが人はありません。また、火災の範囲は、2台の燃料の受入搬送設備のうち1台であり、発電所構外への影響はありません。

地域の皆さまをはじめ、関係者の皆さまには、本年5月に発生した火災に続き、ご迷惑・ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

【経緯】

- 1 発生日時 2023年9月9日（土） 9時25分頃
- 2 発生場所 米子バイオマス発電所（鳥取県米子市篠津町3153-1）受入搬送設備内
- 3 発生状況（9月9日）
 - 9時25分頃 現場作業員が火災発生を確認。
 - 9時29分頃 消防に通報。消火活動を開始。
 - 9時30分頃 消防が到着。
 - 13時15分頃 消防にて鎮火を確認。

【発電所概要】

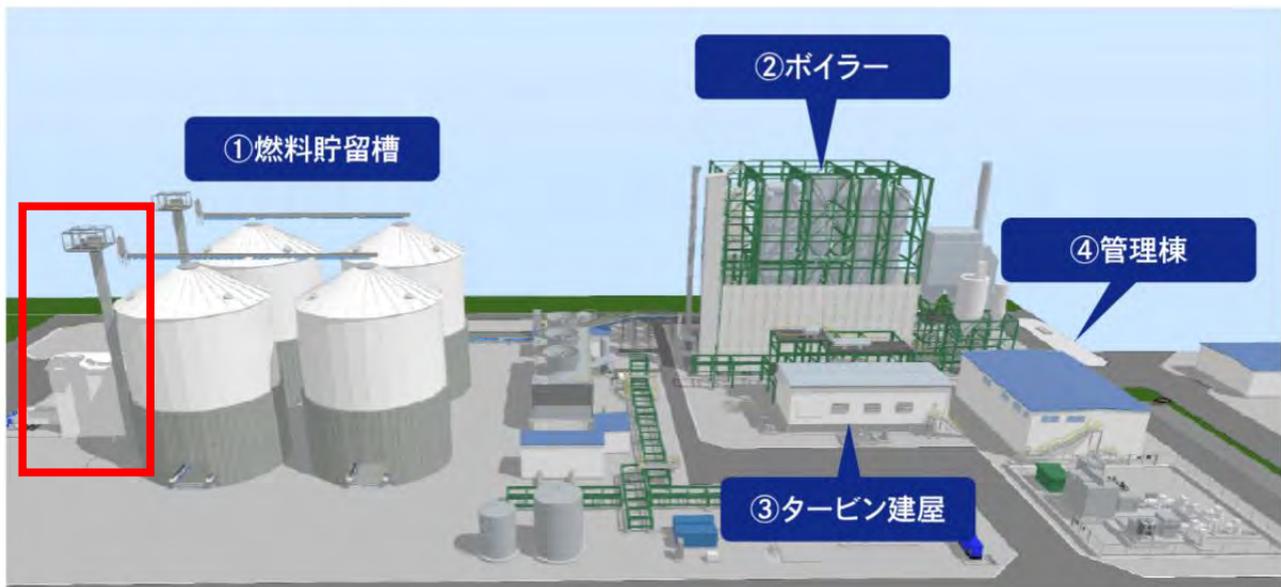
発電出力	54,500kW
想定年間発電電力量	約3.9億kWh(一般家庭約12.5万世帯分に相当)
燃料種別	木質ペレット、パーム椰子殻
運転開始	2022年4月2日

※ 受入建屋およびバケットエレベータ。港から運ばれてきた燃料を受入れ、貯留槽に搬送するための設備。（以下参照）

以上

受入搬送設備の位置（赤枠部）

発電所レイアウトと主な設備



※写真はイメージです。

①燃料貯留槽

貯留槽は、木質ペレットとPKSを保管します。湿度などの状態を保ちながら、安定的にボイラへ木質燃料を供給します。

③タービン建屋

ボイラで作られた水蒸気の手で発電タービンを回し、タービンとつながった発電機の回転により電気を作り出します。

②ボイラー

投入された燃料を燃焼し、発生した熱で水を水蒸気にします。

④管理棟

発電所全体の設備を中央制御する施設です。

受入搬送設備の写真（火災発生前）

